

方式	紙媒体の構成		処理内容	特 徴								備 考	
	文書	図表 写真		コスト	手間	データ量	文字列 検索	再利用	レイアウト 情報	文書 拡大の 平滑性	図表 拡大の 平滑性		
	アナログ	アナログ	ページ単位で全体を一度にデジタル化する			×	×				×	×	・補助手段として文書をOCRでデジタル化して併設し、文字列検索に供することもできる
	アナログ	アナログ	文書と図表・写真を分離して各々をデジタル化した後、双方を合成する	×	×							×	・文書をデジタル化するに際し、OCRにしる手入力にしる黙視による確認作業が必要となりミスを犯す危険がある ・文書と図表・写真が入り組んだ複雑なレイアウトの再現は難しい
	デジタル	アナログ	図表・写真をデジタル化した後、文書のページに挿入する									×	・文書と図表・写真が入り組んだ複雑なレイアウトの再現は難しい
	デジタル	デジタル	何もしない										

表 2.1.1 紙媒体のデジタル化方式

<p><u>A. 研究助成事業</u></p> <p>助成研究成果報告概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 59 年度～平成 8 年度</li> <li>・平成 9,10 年度</li> <li>・平成 11 年度 以降</li> </ul>	<p>研究者からの要望 コピーサービスで対応</p> <p><u>方式</u> で対応</p> <p>デジタルベースに切換え 将来は方式、 で対応</p>
<p><u>B. 機関誌「サウンド」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 号～第 12 号</li> <li>・第 13,14 号（平成 10,11 年 1 月）</li> <li>・第 15 号（平成 12 年 1 月） 以降</li> </ul>	<p>研究者からの要望 残部を送付</p> <p><u>方式</u> で対応（助成研究テーマ関連、音の散歩路）</p> <p>デジタルベースに切換え 将来は方式、 で対応</p>
<p><u>C. 調査研究事業</u></p> <p>表 1.3.1(b)において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1～15 の報告書</li> <li>・No.16 の報告書</li> <li>・No.17 の報告書</li> </ul>	<p>研究者からの要望 残部を頒布</p> <p><u>方式</u> で対応</p> <p><u>方式</u> で対応</p>

表 2.1.2 保有情報のデジタル化の方式選択